

ギカイの窓

2017年(平成29年)8月1日 No.49

特集 地元を愛し、食でつながる若き職人らの集まり × 市議会

トピックス

平成29年6月定例会

市政を問います！ 代表質問・一般質問

議会報告・意見交換会を開催します



表紙

元気いっぱい踊る子ども達

撮影 小林 泰さん 場所 中込七夕まつり

地元を愛し、食でつながる 若き職人らの集まり

× 市議会

料理人、パン職人、果樹農家……。様々な分野のプロが技と想いを持ち寄り、地元食材の料理や酒を楽しむ場「39BAR（サクバル）」。今回は、そんな取り組みを始めた皆さんにお話をうかがいました。



自分たちはこんなに豊かな地域に住んでいるんだ、と感じられる場を作りたい

—39BARとはなんですか？—

4年ほど前、佐久のパン職人と川魚加工を手がける仲間が、パンと魚を組み合わせようと試行錯誤を重ねる中で、知人のレストランシェフに信州サーモンのリエット（ペースト状の料理）を作ってもらいました。これがおいしくて、「違う分野に無理に挑戦するより

も、それぞれの分野のプロが集まればいいのでは」と思ったのがきっかけで、次第に仲間の輪が広がりました。

毎回、ソムリエや料理人、家具職人など様々な分野の20〜30人が集まり、地元食材の料理や酒を楽しむ、次第に輪を広げています。「BAR（バル）」は居酒屋。肩

ひじ張らずに、自分たちはこんなに豊かな地域に住んでいるんだ、と感じられる場を作りたいと思っています。

—季節によって使えない野菜もあるのでは？—

冬でも発酵食品や乾燥豆などの保存食があります。無理せず、そ

の時々のおいしいものを食べればいいし、それにうまく対応するのも料理人のうまさでは。

—佐久地域の魅力とは？—

フランスの野菜は力があり、焼いてオリーブ油と塩だけで充分においしい。この佐久地域にはそれと同じレベルの野菜があります。



信州サーモンと佐久地域の季節野菜のマリネ



ハーブを敷き詰めた小箱の上のお品書きが、料理への期待感を高めてくれる

ワインもある。東京まで新幹線で1時間、日帰りで人を呼べる立地ももちろんいい。

—佐久市に望むことは?—

東御のワインフェスタなど、周りの町が「うちはワインでやっていこう」「うちは高原野菜で」と地域の食を打ち出す中で、佐久ではそういう動きが見えないのが残念です。

例えば、佐久の姉妹都市である仏・アバロン市に食分野の職人たちが行って学び、佐久でアバロンの料理を披露するイベントができれば。そういう交流を行政が後押ししてくれればありがたいです。

今、国宝級の寺や海岸などで世界的なシェフの料理を楽しむフレンチのイベント「ダイニングアウト」が話題です。佐久でもそういうことができればいいのですが、問題は保健所の許可がとりにくいこと。そういった場面で行政の理解や助けがあると、地域の力をもっと出しやすくなると思います。

平成29年 6月定例会

平成29年6月定例会を6月5日から6月29日までの25日間の会期で開き、条例改正や平成29年度補正予算など16件を可決し、意見書案2件を採択しました。

平成29年6月定例会 議案審議結果

議案番号	議事内容・議案名	結果
61	佐久市個人情報保護条例及び佐久市行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律に基づく個人番号の利用及び特定個人情報の提供に関する条例の一部を改正する条例の制定について	◎
62	佐久市消防団員等公務災害補償条例の一部を改正する条例の制定について	◎
63	佐久市税条例等の一部を改正する条例の制定について	◎
64	佐久市特別養護老人ホームシルバーランドキシの条例の一部を改正する条例の制定について	◎
65	佐久市積立基金条例の一部を改正する条例の制定について	◎
66	佐久市民会館条例の一部を改正する条例の制定について	◎
67	消防団員用防寒衣の購入について	◎
68	市道の路線認定について	◎
69	市道の路線変更について	◎
70	市立小学校における授業中及び特別活動中の事故に係る和解及び損害賠償の額を定めることについて	◎
71	平成29年度佐久市一般会計補正予算(第2号)について	◎
72	平成29年度佐久市国民健康保険特別会計補正予算(第1号)について	◎
73	十二川原工業団地用地の処分について	◎
74	平成29年度佐久市臼田支所整備事業新支所建築(本体)工事請負契約について	◎
75	平成29年度佐久市一般会計補正予算(第3号)について	◎
76	平成29年度佐久市工業用地取得造成事業特別会計予算について	◎
意見書案 第4号	義務教育費国庫負担制度の堅持を求める意見書	◎
意見書案 第5号	国の責任による35人以下学級推進と、教育予算の増額を求める意見書	◎

【結果の表示】 ◎ 全会一致で可決・採択 ○ 賛成多数で可決・採択

平成29年6月定例会 請願・陳情等状況一覧

番号	請願・陳情者	請願・陳情要旨	結果
平成29年 陳情第4号	佐久市野沢335-1 佐久市教職員組合 代表 下平 真介	義務教育費国庫負担制度の堅持を求める陳情	採 択
平成29年 陳情第5号	佐久市野沢335-1 佐久市教職員組合 代表 下平 真介	国の責任による35人学級推進と、教育予算の増額を求める陳情	採 択

常 任 委 員 会 審 査 報 告

白田支所工事請負契約、補正予算可決・
陳情2件採択

総務文教委員会 委員長 関 本 功

・白田支所本体工事請負契約、3歳児の読書習慣を身に付けるセカンドブック事業及び移動図書館車の更新経費等の補正予算を可決。
・「義務教育費国庫負担の堅持」、「35人学級の推進を求める」意見書提出陳情は採択。

◆こんな質問がきました

Q 図書館で実施するセカンドブック事業贈呈本は、どうしたら贈呈してもらえるのか。

A 図書館の読み聞かせ教室に親子で参加していただき、20冊のリストの中から親子で希望の本を選び1冊をプレゼントする事業です。

◆こんな意見がきました

・「義務教育費国庫負担の堅持」、「35人学級の推進を求める」陳情は、毎年陳情書が提出され、その都度市議会が採択している。状況は変わっていないので、国の状況が改善されるまで意見書を提出すべき。また、35人学級の推進では少子化が進んでいても欧米などに比べると人数が多いので、35人学級を進めるべき。

浅科の十二川原工場団地の処分について

経済建設委員会 委員長 中 條 壽 一

十二川原工業団地用地を、日精工・エス・ビー機械株式会社と売却仮契約を締結。
総合運動公園整備事業に係る国の社会資本整備総合交付金の減額に伴い、今年度の事業費を減額補正。

◆こんな審査状況でした

今議会は新クリーンセンター現地調査、十二川原工業団地、長者原農道、総合運動公園整備事業に係る国の社会資本整備総合交付金の減額に伴う減額補正等に関して全会一致で、原案可決と決しました。



新クリーンセンター工事の様子

平成29年度補正子育て支援事業を含む
補正予算案2件条例案1件を可決

社会委員会 委員長 三 石 義 文

平成29年度補正予算の子育て支援事業費「教えて！ドクター作成委託料」について。これは子どもの病気と対処法について医師会にお願いし、子育て世代の方に役立てていただく冊子です。今回4千500部を制作予定です。

◆予算審査でこんな意見がきました

・全国では自治体を中心となり様々な子育て機関と連携し、アプリで検索すればあらゆるケースに対応した対処方法が分かるシステムを開発している自治体もあるので、将来的にはシステムの構築を望む。

・「パパママフレナビ」など、様々なサイトがあるが子育て情報についてサイトを1つにするなど利便性の向上に努めてほしい。
・子育て中で左記の本を利用している委員からは、慌てているとき見るので、本のサイズをもう少し大きくする検討も必要では。



4 会派が市政を問います

代 表 質 問



- 代表質問の紙面は、議員個々の責任で編集しております。ご不明な点は、議員にお尋ねください。
- 佐久ケーブルテレビ等やインターネットによる動画配信を行っていますので是非ご覧ください。



代表質問とは

当該議会に所属する会（党）派を代表して行う質問のことをいう。
 当初予算が審議される予算議会のように質問者が多い場合、会期日数との関係から、特定の議員が会派又は政党を代表して、長が執行する一般事務のうち各行政部門ごとに質問事項をまとめ、これについて質問することをいう。
 そのため、佐久市議会では、通常3月議会に代表質問を行うが、議員改選の年は6月議会に行っている。



動画配信 QRコード

AQ 誘客についての戦略は、健康長寿を培ってきた佐久市産

◆道の駅「ヘルシーテラス佐久南」について

挑戦していく。「住みよいまち日本一」を目指し、さらなる発展に

その「快適健康都市佐久」の実現と「希望をかなえ選ばれるまち」、「住みよいまち日本一」を目指し、さらなる発展に

A シティープロモーションの推進を図るなど、「健康長寿」をキーワードに各種施策を展開する。

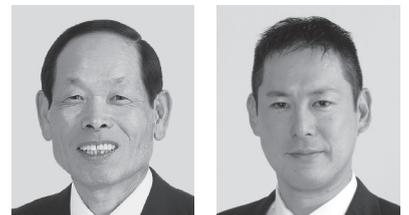
Q 第3期柳田市政の目指す佐久市とは。

将来に向けた雇用の創出や財源の確保、切れ目のない子育て支援の実施に加え、保健、医療、福祉のシステムを佐久ブランドとして育み、佐久市の魅力として国内外に発信するとともに、

新政ネット

第3期柳田市政の目指す佐久市とは

質問者



せきもと 功 おおい 岳夫
関本 功 大井 岳夫



ヘルシーテラス佐久南に設置された案内看板と虚空蔵山

の農産物を用いた佐久の伝統料理や健康メニューの提供、施設を起点とした虚空蔵山の散策ルート、収穫体験をしていただける体験圃場など、他の施設にない特徴があるので、軽井沢のみならず全国からの誘客に向けたPRを行っていく。

一方で地域住民のリピーター

確保に向け、ポイントカードの導入や、市内の伝統料理の伝承に向けた料理教室の開催などを実施する予定である。

Q 道の駅を起点とした虚空蔵山の散策ルートについて。

A 道の駅構内に散策ルートの案内看板を設置したほか、指定管理者においても、虚空蔵山自然道の駅管理委員会が作成したパンフレットを設置するほか、ウォーキング用のポールを貸し出す予定である。

◆子ども福祉医療費窓口無料化について

Q 実施に向けての考えは。

A 平成30年8月からの実施を目指し、満18歳の年度末までの市内全ての子どもを対象として、検討を進めていく。

受給者負担金については、長野県と市町村による検討会の取りまとめを尊重し、現行の1レプトあたり500円を維持していくことを考えている。

◆公共施設の最適化について

Q 公共施設の最適化の考えは。

A 統廃合や複合化などにより施設総量の見直しや長寿命化、耐震

化の推進、及び維持管理の効率化などの質の見直しを行う。

Q 最適化の推進体制はどうか。

A 庁内の体制に加え、市民などとの連携により市民と行政とが課題を共有しつつ、相互に協力し取り組んで行く。

Q 施設種別の目標と取り組みは。

A 必要な福祉サービスを維持し、適正な施設規模と機能を見直すほか、民間活力の導入とともに他施設との複合化や長寿命化などの取り組みを行う。

◆地域の特性を活かした経済拠点の形成について

Q 樋橋地区の特性と土地区画整理事業の事業主体の確認と公共施設の違いは。

A 樋橋地区の特性は北陸新幹線、上信越自動車道及び中部横断自動車道のアクセスの良さから県内でも有数の高速交通の要衝として、広域的に人を呼び込むことが可能な地域である。この事業は「組合施行の土地区画整理事業」であり、地権者自ら組合員として収支計画の策定や工事発注を行い、組合の運営に責任を負いながら進めていく事業で

ある。

◆県立武道館の建設について

Q 県立武道館の現在の状況は。

A 県立武道館基本構想は現在基本設計が終了し、実施設計中であり平成31年度中の供用開始を目指している。この県立武道館は

東信地区で最大の屋内施設となり、武道での利用を主とし、大会等を積極的に誘致するほか、武道以外の多様な利用により施設利用の向上に努める。

◆中部横断自動車道の延伸について

Q 今後の展開はどうか。

A 中部横断自動車道は災害発生時には緊急輸送路としての役割のほかに救急医療など住民福祉の多様な機能も兼ね備えた「命の道」となることから、長野県内の沿線市町村で組織する、各種団体により中部横断自動車道の効果、必要性、重要性を国土交通省等へ強く訴えて行く。

◆佐久総合運動公園について

Q 国からの補助金が減額されているが、今後の整備計画はどうか。

A 平成28年10月から「メインスタンド中央部」の整備に着手し、今年度予算に17億1千900万円を

計上、主な財源は国の補助金を8億1千900万円見込んだが、内示額は1億5千100万円と見込み額を下回り、今議会で経費の一部を減額し、30年度予算対応とし、今後国の補助金確保に努めていく。

◆企業等の誘致について

Q 市長公約で「新たな工業団地の整備」を掲げているが、候補内の検討と事業化の見通しは。

A 工業団地の事業化に向けては、造成後に企業が多く候補地の中から佐久市を選択していただける分譲価格となるよう、市内3カ所を造成費の圧縮や年度ごとの財政負担等の検討を進め早期に候補地を決定したい。



佐久総合運動公園野球場 工事の様子

新緑会

協働のまちづくりと市民満足度アップ について・産業振興ビジョンについて

質問者



井出 浩司
よしかた とおる

Q 昨年度で終了した「佐久市協働のまちづくり行動計画」の成果と課題および今後の方針について。

A 平成24年に開設した「市民活動サポートセンター」を中心に行政と市民との情報共有、協働の環境と仕組みそしてネットワーク作りを取り組んできた。協働活動の評価を依頼している「協働のまちづくり推進会議」からは、地域の支え合い組織の形成活動等を高く評価していただいた。しかし、若者の参加が少ないうこと・活動をリードする人材や団体が不足していること・他の機関との連携が十分でないこと等々課題も多い。

第二次となる行動計画においては、若者の参加を促すために

SNSを活用した情報発信、「自分たちのまちは自分たちでつくる」意識の醸成、まちづくりへの財政支援の促進に力を入れていく。

また、パブリックコメントや各種審議会委員の公募枠への応募等、市民の側からの市政への参加状況は必ずしもいいとはいえない。パブリックコメントも昨年度は募集25案件に対し17案件に延べ34名の皆さんが応えてくださったのみ。公募委員も現在総計74人枠に40名と充足率は54%に過ぎない。

行政への参画は市民の権利でもあるので、周知方法を含め工夫し市民参加の実をあげていきたい。

Q

市長の選挙公約にある「市民満足度アップ」の具体的な内容とその手法、数値目標は。

A

「満足度」は、市政の主要施策48項目について行う市民1千人を対象とした2年ごとのアンケート調査で捉えている。全体の指数は上昇傾向にある。昨年の調査では「佐久市は住みやすい」との回答が81・4%であった。

今後は満足度の高い施策項目はまずそれを維持させ、低い項目について対策を強化していく。民間活力の活用も手法の一つだと考えている。

数値目標は項目ごとに担当部署でこれまでの経過を踏まえて設定し、「総合計画審議会」の議を経て決定した。

◆佐久市健康長寿産業振興ビジョンについて

Q

成長が期待される「ヘルスケア関連産業」の活性化が必要不可欠として、健康長寿産業振興ビジョンを策定したが、どの様な産業振興を目指していくのか。人材の育成確保、連携の促進、グローバル化の推進等の5つの基本戦略により事業を進めたい。

A

成長が期待される「ヘルスケア関連産業」の活性化が必要不可欠として、健康長寿産業振興ビジョンを策定したが、どの様な産業振興を目指していくのか。人材の育成確保、連携の促進、グローバル化の推進等の5つの基本戦略により事業を進めたい。

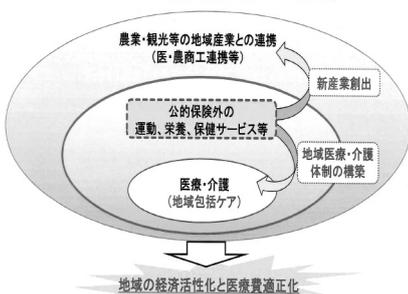
Q

市内従業者が最も多い製造業、ものづくり産業を中心とした産業振興を図ってまいりたい。佐久の医療、福祉、健康といった強みを活かしながら食・農・観光といった地域資源との融合により市内産業の成長をもけん引していく取り組みをすべきであると考えているが、具体的な施策によりどの様な形で市民益につなげることが出来るのか。

A

ヘルスケア関連産業等の新たな産業の創出や、ものづくり産業を中心とした既存企業の成長を促進させ地域経済の持続的な発展と市民の心身ともに健康で快適な暮らしの実現、まち・ひと・しごとの好循環によって将来の活力創造に寄与するものと考えている。

【地域経済における予防・健康管理サービスの役割】



日本共産党

国保税・子ども医療費窓口無料について 教育委員会後援取消について

質問者



ないとう ゆうこ
内藤 祐子

◆国保について

Q 今回の市長選の大きな争点の一つは国保税の値上げ問題。市長の掲げる世界最高健康都市を標榜する中では、国保税の値下げに踏み切るべき。来年度から国保は都道府県化となる中、「佐久市国民健康保険財政健全化計画」の見直しの可能性もあるのではないか。

A 今後の収支見込や将来推計を見ながら途中見直しは必要。

Q 県の標準保険料率の提示が大きく今より下がった場合は。

A 大きな見込みの差が出たら検討していく。

◆子どもの医療費窓口無料化

Q 新聞報道では「完全窓口無料化」とあったが。

A 「完全」とは言っていない。1レセプトあたり500円は徴収する。

Q 500円はどこで徴収するのか。医療機関窓口で払って頂く。

◆教育委員会後援取消について

Q 「We love 原発のない世界 子どもたちの命と未来のために知っておきたい大切なこと」と小出裕章氏講演会に対し教育委員会2月に後援を決定し、5月に取り消した。「政治的」であるとして4件の抗議があったとの事。取消についての抗議は何件あったのか。

A 取消はおかしいとの主旨で30件。課内判断ではなく、要綱にある審査委員会は開かなかったのか。

A 「政治的」と認知したので。



小出裕章講演会のチラシ
(講演会参加者540名)

公明党

介護ボランティアポイント制度について 若者への自殺対策について

質問者



わじまみわこ
和嶋美和子

◆介護ボランティアポイント制度の導入について

Q 高齢者の皆さんが介護支援のボランティア活動で貯めたポイントを現金や商品などと交換でき、介護保険料の負担が実質的に軽減されるこの制度は、高齢者の社会貢献を促し健康寿命を延ばすことができる取り組みだと考えます。市の考えは。

A この制度も高齢者同士がお互い助け合い、支え合う地域活動ですが、市としては「介護予防・日常生活支援総合事業」の住民自らが主体となって参加する多様なサービスを構築していくことが当面の課題だと考えています。この制度については今後の研究課題にします。

Q 学校での「SOSの出し方教育」の取り組み状況は。

A この事業は、自分が辛い時悩ん

でいる時に、ためらうことなく友人や学校、家族にSOSを発信することや、反対に友人からのSOSをキャッチできるようになることが大切である。という内容を理解する内容です。現在、市立中学校7校を対象に担当の保健師が講話を行っています。また保護者には、思春期特有の心の変化や悩みに対し、大人に相談することの重要性や、学校や地域にもサポートする場があることを知って頂くためのチラシを配布しています。

◆その他の質問項目

・教員の過重労働について



「SOSの出し方教育」用
パンフレット

12名の議員が市政を問います

一 般 質 問



- 一般質問の紙面は、質問した議員個々の責任で編集しております。ご不明な点は、議員にお尋ねください。また正式な記録は会議録をご覧ください。
- 佐久ケーブルテレビ等やインターネットによる動画配信を行っていますので是非ご覧ください。



動画配信 QRコード



一般質問とは

議員がその属する地方公共団体の行政全般にわたり、執行機関に対し事務の執行の状況及び将来に対する方針等について所信を質し、あるいは報告、説明を求め又は疑問を質することをいう。

視覚障がい者への支援・新地方公会計制度・若者への支援について

◆視覚障がい者への支援

Q 視覚障がい者の日常生活用具に音声付き血圧計を加えて、種目の充実を図って頂きたい。

A 日常生活用具については、各市町村の判断により違いがある。新しい用具の開発がされている状況もあり、利用者からの要望や他市町村の状況を踏まえ、検討してまいりたい。

◆新地方公会計制度について

Q 国では平成27年に「統一的な基準による地方公会計マニュアル」を示し、平成29年度までに基準に基づく財務書類を整備するよう求めている。今後の活用方法について伺う。

A 財政情報を市民や外部にわかりやすく公表する事や、減価償却費等を含む行政コストを把握し、今後の予算編成に活かしてまいりたい。

◆若者への支援について

Q 愛知県新城市で行われている

A 若者会議は、若者からの政策提言を具体化し、成果を上げている。若者からの政策提言についての考え方を伺う。

A 市は基本的施策の策定にあたり、パブリックコメントやワークショップ等の市政への参加や、住民説明会、本年3月から始めたインターネット市政モニターなどで意見・要望を反映している。「若者議会」については、若者の市政参画を実現する為の一つの手段と考えている。その有効性について調査していく。



若者の政策提言が実現する「まち」に



えもと のぶひこ
江本 信彦

10代の投票率向上の方策について 新規職員の育成方法と研修の内容は？



つちや ひろこ
土屋 啓子

Q 昨年の参院選及び今回の市議

市長選における10代の投票率は。

A 参院選44・75%、今回30・86%。

Q 10代の投票率を上げる方策は。

A 高校等で、出前授業及び模擬投票を行い、実際に近い体験をさせる。啓発冊子の配布及びお知らせハガキの送付。

Q 新規採用職員の育成方法と、研修内容は。

A 自ら課題を認識し、意欲を持たせ、学習する、実践する事を繰り返して行う。ビジネスマナーの基本及び公務員の心構え等々の研修。

Q 現場主義が大切と考えるが、研修の中で介護施設等で、実修を行う期間は。

A 外部研修では1日か2日。

Q 実習が1日か2日というのは、短かすぎないか、1〜2ヶ月とというのは無理なのか。

A 人員不足または業務の停滞を

招くという事が危惧される。全職員を研修という事で、必要な時に必要な仕事を経験させる。

Q バルーンフェスティバルの32万人という数の算出の仕方とそれに関する経済効果は。

A 会場の来場者数だけでなく、駐車場・シャトルバスの利用状況等々で、総合的に勘案された数。ゴールデンウィーク中の経済効果については、具体的な調査はしていない。



農業資源の活用による交流人口の創出 について・ふるさと納税について



たかやなぎ ひろゆき
高柳 博行

Q グリーンツーリズムの現状と今後の展開について。

A 現在故郷ふれあい交流事業補助金の交付や活動広報等による受入団体の支援および団体の受入を担うリーダーの育成、また「佐久クラインガルテン望月」等の施設を通し都会住民との交流を推進しています。受入施設を増やしたり体験メニューの充実や交流活動を図るには、事業補助金の周知徹底による幅広い新たなグループの掘り起こしや、受入団体がビジネスとして持続可能な運営ができる様に先進地を参考にし、佐久に適したグリーンツーリズムのあり方を考える必要があります。

Q ふるさと納税受入額と財源流出額との差額は。

A 納税額3千638万円、調達コスト等の経費1千437万円、佐久市民がふるさと納税した事による住民税の控除額3千275万円より

単純収支は△1千74万円となります。

Q ふるさと納税の評価は。合併特例措置の終了に伴い自主財源の確保は極めて重要であり、また地場産業の活性化や地域経済の波及効果も考慮すると、返礼品についても創意工夫をし充実を図ってまいります。

Q 今年度の納税目標額は。8千万円以上の寄附を目標と致します。



佐久クラインガルテン望月

臼田地区の小学校建設について 高齢者の外出生活の援助について



やなぎさわ まさお
柳澤 眞生

Q 新校に向け通学路の安全確保の検討はどう進んでいるか。特に田口青沼方面。

A 各校で取り組んだ検討部会報告を基に現地確認中。更に、近く開設する地域協議会等でも検討を重ね最善策を作っていく。

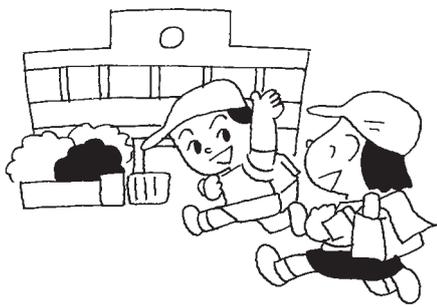
Q 遠距離バス通学は4km以上にこだわるのか。

A 統合による地域的な通学路の状況、低学年児童等の安心安全を十分考慮した検討を行う。

Q 通学区外の隣接校への通学希望者の対応はどうか。

A 住所替えや特殊な家庭事情など教育的見地からやむを得ない場合は有り得る。通いたくなる新校作りを地域と共に進める。子ども最優先、地域要望第一に進めて欲しいが更に住民の声を聞く計画は。

A 今後の地域協議会やパブコメの意見も十分活かし建設基本計画をつくる。情報発信し、地域



の声は大切に受け止めて行く。

Q 免許返納した高齢者の外出生活の援助充実を。選挙中多くの切実な声を聞いた。デマンドタクシーや巡回バスは使い勝手が悪く馴染めない。タクシー利用券の支給制度など実施できないか。市長の所見を伺いたい。

A 高齢者が不安と戸惑いを抱き二ミズの高まりが有ることを自分も実感している。交通の足の確保が必要な社会、重要な観点になるだろうとは思っている。

地域の公共交通を守るために 新クリーンセンターの経過は



つちや としげ
土屋 俊重

◆佐久市地域公共交通網形成計画について

Q 10月から巡回バスをデマンドタクシーに変更することとしているが、停留所を増やすことができないか。病院や買い物などに行く際、停留所が遠く歩いていけないため不安に感じている。

A 新たな公共交通体系で10月より試行運転を始めるが、現停留所を基本に設置する。今後試験運行中にアンケートを実施し、市民要望や利用状況を考慮し必要と判断した箇所は移設、増設をする。

◆新クリーンセンターについて

Q 平根地域で新クリーンセンターを受け入れたが、現在の位置に決定した経過が市民に浸透していないので、議会を通じて再度認識していただきたい。また、造成工事が遅れ気味だが今後の予定は。

A 平根、内山、猿久保の候補地

があったが、選定委員会で適正順位が1位であった平根地域に決定した。今後の予定は見直しを行い、6月末までに精査を進めたい。

◆県立武道館について

Q 市の負担分について音響設備や防音設備、伝統建築の部分的な施工など、用途の指定ができないか。

A 現在基本設計が遅れていて費用や設備などの内容が確定していない。そのため負担分を指定するのは難しい。



最重要課題は市民の働く場の確保!! 国体競技の開催を佐久市へ誘致



たけはな みゆき
竹花 美幸

Q 今後、働く場の確保は最重要課題。新たな企業用地の確保をどう進めていくのか。

A 三か所の候補地について、造成の圧縮や年度ごとの財政負担等の検討を進め、早い時期に候補地の検討を完了させたい。

Q 企業の対象業種、ターゲットをどう考えているのか。

A 幅広い業種の集積を目指し取り組んでいる。佐久市の強みである「健康長寿」を積極的に発信・展開し、ヘルスケア関連産業の誘致にもつなげていく。

Q これまでの企業誘致によりどれくらいの雇用創出があったのか。また、雇用創出のため一層の努力が必要だが、今後どのように取り組む考えなのか。

A 新規雇用者の実績は総数で188名、うち市内居住者が114名。既存企業の更なる経営基盤の強化や、新たな工業団地の整備の検討を進めながら、民間所有の空



佐久総合運動公園
スポーツの力で市民に夢と希望を!

き物件等を活用した企業誘致による雇用創出を図っていく。

Q 平成39年の国体および全国障害者スポーツ大会の招致を県が進めている。陸上競技場や野球場、今後建設が予定されている県立武道館などの施設を利用して、一つでも多くの競技を佐久市へ誘致してほしいがどうか。

A 佐久総合運動公園陸上競技場等の既存の施設に加えて、今後整備される野球場や県立武道館も含める中で、競技開催の誘致を積極的に進めていく。

あさしな保育園などの駐車場の拡充を 学校給食費の無料化について



こばやし まつこ
小林 まつ子

Q 定員150人のあさしな保育園では駐車場が狭いので、子どもの送迎時に車の乗り入れができない状況。送迎のピーク時には、市道に7台も8台も車が連なり、その中を子どもたちが降り降りしている。

A また、泉保育園や中込第一保育園も、路上に駐車している。送迎時に駐車できるように、駐車場を整備できないか。

Q 少しでも駐車場を確保して、安全に送迎できる環境を整えることは必要である。しかし敷地面積が限られており、用地の取得となると費用の検討も必要となるので大変難しい。

A 事故が起きてからでは遅いので、まず園児の安全を確保する人を配置できないか。

Q 今後も保護者の皆さんに安全運転に努めていただき、必要な時には、園長や職員が旗を持って、路上で安全確保をする。



Q 子育て支援策として、学校給食費を無料にできないか。全国では、無償または一部補助を行っている自治体は、47市町村あり、全自治体の24・0%にあたる。

A 平成29年度年間給食費の見込みは、小中学校合わせて約4億5,300万円。就学援助を受けている中で、学校給食費分は3,900万円である。食料費は保護者負担という受益者負担を前提に、無料化または部分的補助は考えていない。

自然エネルギーの活用・既存商店街活性化・駐輪場対策・原東一号線整備



しみずひでさぶろう
清水秀三郎

子どもの安全対策の優先度を上げて！ 市民に多様な学びの機会を！



しおかわ ひろし
塩川 浩志

Q 佐久市内の太陽光発電設置状況について。

A 市では全て設置状況を把握出来てないが、設置にかかる補助事業等、市への申請がなされたもののみ把握できている。平成28年度末現在で3,211件。最大出力合計22,969kw。山林原野は22件。7.1ha。宅地・雑種地・農地は41件。18ha。農地転用面積は平成24年〜平成28年まで許可件数196件。26.7ha。佐久市の方向性については現在エネルギー自給率目標の13%を超えているが、今後の動向を注視して行く。

Q 駅前駐輪場の現況について。

A 佐久市内には10か所の駅があり滑津駅と太田部駅に駐輪場がない。滑津駅の駐輪場については現在自転車置いてある場所はJR保安車両の駐車スペースで本来駐輪禁止。太田部駅同様住宅地であり用地確保が難しい。今後検討。

Q 原東一号線拡幅について。

A 今後事業化の検討。当面の対策として待避所を建設する。

Q ◆通学路の安全対策について

A 佐久市の「通学路安全対策プログラム」で、要望の3割は次年度以降に先送りされているが、子どもの安全対策の優先順位をもっと上げるべきではないか。警察など関係機関に依頼した案件も、きめ細かくフォローして対応状況や今後の見通しなどを公表すべきではないか。

Q 限られた予算で全ての要望に対応するのは困難。優先順位は

A 「区要望優先度判定フロー」に基づき、緊急性や地元の要望優先順位などを総合的に勘案して判断している。警察の所管事項については要望から採択まで時間がかかることなどから、途中経過の把握は困難。

Q ◆教育委員会の後援取り消し問題について

A 賛否が分かれる問題を扱うイベントについて、どちらの立場も後援しない佐久市のスタンス



JR小海線滑津駅前の状況



交通事故が相次ぎ、地元から信号機設置の要望が出ている通学路の交差点

Q 今後、市の施設の使用が「政治的」との理由で不許可となる可能性はあるか。

A 各施設の条例で「政治的」を理由として使用を不許可とする規定はない。

Q 行政全般に関わる要綱であり、今回の事案だけをとらえて改正は考えていない。

A よりも、小諸市や飯田市のよう

にどちらも後援する方が、市民に多様な学習機会を提供できるのではないか。要綱の改正や解

Q 商店街の活性化策について。

A 各商店会と協議をしていく中で、各種補助金を活用して支援していく。

Q 全国的にも商店街の活性化は難しい。ハードルが高い。

A 全国的にも商店街の活性化は難しい。ハードルが高い。

Q 全国的にも商店街の活性化は難しい。ハードルが高い。

A 全国的にも商店街の活性化は難しい。ハードルが高い。

長野県立望月高等学校の存続について



おおつか ゆういち
大塚 雄一

Q 望月にあります長野県立望月

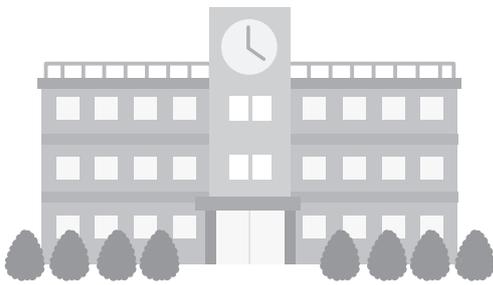
高等学校が今、存続の危機に立っております。5月26日の信濃毎日新聞に「望月高校は第一期再編に該当する」と記事に掲載されました。この出来事は、望月地域にとっては大変な事であり、3月の佐久市議会では、存続を求める意見書を長野県知事・県教育委員会に提出しました。最終的には県教育委員会が決める事であり、今後も望月地域の為に望月高校存続の更なるバックアップをお願いしたいところですが、佐久市の考えを教えてください。

A

望月高校は、今までも生徒数が増える様、野沢中込地区の市内バスのダイヤ改正また望月高校同窓会の皆さんと同行し県教育委員会への陳情を提出し、また行政も関係した「もちづき教育未来会議」の設立等とバックアップしてまいりました。今後

も望月地域の皆さんの声を聴き

特徴ある教育の望月高校の存続の為に「もちづき教育未来会議」と、望月高校同窓会の皆様と力を合わせて対話を密にして県教育委員会に存続を共に求めてまいります。



政治教育では多様な意見の提供を！ 望月地区に関わる市長公約について



よしかわ ともこ
吉川 友子

◆政治教育について

Q

教育基本法には「政治的教養は尊重されなければならない」とあり、社会教育法では「国や地方公共団体は必要な学習の機会の提供及び奨励を行う」とある。社会教育における政治教育をどう考えるか。

A

教育基本法の理念に基づいて社会教育においても政治的教養は尊重されなければならないと考える。

Q

「政治的中立」はさまざまな立場の資料を提供し、学習機会を増やすことだと思いが、教育委員会の「政治的中立性」に対する考えは。

A

どちらか一方の立場にたった主張のみを扱って世論に方向性を与えるような危険性は避けるべきだと考える。

◆学校での労働環境

Q

教職員の超過勤務時間、病氣休職状況と今後の対策は。

A

小学校で月平均45時間29分、中学校で58時間30分。病氣休職者は3名。今後は時間単位で休暇をとれる割り振り制度など対策を考える。

◆望月地区の市長公約

Q

長者原の農業支援や川西十字病院支援の方針は。

A

長者原では高原野菜のブランド化、新規就農者の住宅支援、水タンクの施設改修、道路拡幅など。川西赤十字病院は今後も引き続き存続していただくために、関係自治体と協議したい。



川西赤十字病院

がん教育の推進について がん教育の取り組みの現状と必要性について



こばやし としはる
小林 歳春

Q がん受診を促す為の取り組み状況について。

A 毎年3月に健康カレンダーを全戸配布し、4月から5月にかけて対象となる皆様に受診券と受診を促す案内文をお送りしている。サクライフ、市ホームページ、エフエム佐久平を活用する他、子宮頸がん乳がん検診の対象者には、ハガキによる勸奨も行っている。加えて区長・保健補導員さんの協力や土日に検診日进行けるなど、また一部の検診についてQRコードを利用してスマートフォンや携帯電話から申し込みが出来る工夫もしている。

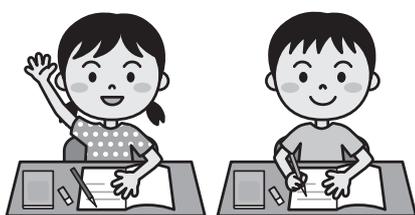
Q がん教育の取り組みと現状について。

A 小学校の健康教育は、5年6年生の体育の保健の時間に、中学校では3年生の保健体育の時間に小学校で学んだ内容を深め、不適切な生活習慣が生涯にわた

る心身の健康に様々な影響があること等について学習している。今後疾病構造の変化や高齢社会など児童生徒を取り巻く環境が大きく変化していくなか、がんそのものの理解やがん患者に対する正しい認識を深める教育の必要性を感じている。国の動向を注視しつつがん教育健康教育を実施して行きたい。

◆その他の質問項目

- ・投票率向上に向けた取り組みについて
- ・空き家対策の調査の結果と今後の取り組みについて



ようこそ佐久市へ

— 行政視察受入状況 —

毎年、市には全国各地の議会から、行政の取り組み状況や市内の先進施設について多くの視察の方が訪れています。平成28年度は、32都市273人の方が来市しました。視察の調査項目は、健康・福祉の分野が最も多くなり、次に経済・建設関係となっています。

視察の主な調査項目 ()内の数字は視察件数

議会……議会改革 (1)

総務・企画・地域局・会計……文化会館を住民投票で取りやめた経緯等 (1) 消防団支援制度 (1) 防災行政無線 (1) 世界最高健康都市構想 (1) 佐久市生涯活躍のまち構想 (1) 公共施設マネジメント (1) 佐久市地元企業優先発注等に係る実施方針 (1) 望月クラインガルテン (1) 検査係業務内容 (1)

健康・福祉……佐久市新しい保健の推進、保健補導員制度、地域完結型医療、医療連携健康づくり、健康長寿推進事業、在宅医療・介護の連携体制推進事業、地域包括ケアシステム構築の取り組み、いきいきシニアライフ老い支度講座 (9) オールマイティ1年生事業・児童館 (1)

経済・建設……学校給食応援団、農業振興 (3)、空き家対策・移住定住促進事業 (4)、岩村田本町商店街 (1)、新幹線駅周辺整備事業 (4)、太陽光発電設置に関する開発指導要綱 (1)

環境……太陽光発電設置に関する自然環境保全条例 (1)、ごみの減量・リサイクルの取組み (1) 新ごみ焼却施設建設経緯 (1)

社会教育……佐久市総合運動公園陸上競技場 (1)

お詫びと訂正

議会だより第48号 (平成29年5月1日)の一部に誤りがありました。

P15 2段目 表 ㊦ 27,089 → ㊦ 27,758、㊦ 17,081 → ㊦ 18,045

議会だより臨時号 (平成29年6月1日)の一部に誤りがありました。

P 4 公明党会派代表 ㊦ 江本信彦 → ㊦ 和嶋美和子

お詫びして訂正します。

平成29年度 議会報告・意見交換会を開催します

開催日時	開催場所
11月 6日 (月) 午後6時30分～	あいとびあ白田
11月 7日 (火) 午後6時30分～	野沢会館
11月 8日 (水) 午後6時30分～	駒の里ふれあいセンター
11月 9日 (木) 午後6時30分～	交流文化館浅科
11月11日 (土) 午後1時30分～	浅間会館

第1部 議会報告
常任委員会から審査の状況や行政視察についての報告をします。

第2部 意見交換(詳細は次回号でお知らせします)



昨年の議会報告意見交換会の様子

11月11日(土)は
手話通訳者や託児に係る保育士(要予約)を
配置する予定です

あなたも議会を傍聴してみませんか

★次の定例会(平成29年9月定例会)の日程(予定)は右欄のとおりです。

★委員会審査も傍聴いただけます。
本会議同様、各常任委員会、特別委員会、議会運営委員会も傍聴いただけます。
ただし、委員会会場の都合上、希望者多数の場合は、開会前に抽選を行いますのでご了承ください。

※ご注意ください

本会議、委員会とも傍聴の際は、携帯電話の電源をお切りください。また、会議の様を撮影、録音することはできません。

問い合わせ先 佐久市議会事務局
電話 0267-62-3495(直通)

次回定例会のお知らせ

【平成29年9月定例会】開催予定日

日	月	火	水	木	金	土
8/27	28	29	30	31 本会議 (開会)	9/1	2
3	4	5	6	7	8	9
10	11 本会議 (一般質問)	12 本会議 (一般質問)	13 本会議 (一般質問)	14	15 本会議 (議案質疑)	16
17	18	19 委員会	20 委員会	21 決算特別 委員会	22 決算特別 委員会	23
24	25 決算特別 委員会	26	27	28 本会議 (開会)	29	30

※日程は、諸事情により変更となる場合があります。

編集後記

ギカイの窓の編集を担当する広報広聴特別委員会では、新たに議会報告会「議会と語ろう会」も担当することとなり、今まで以上に市民の皆さまと議会を結ぶ、大変重要な役割を担う特別委員会となりました。更に開かれた議会になるよう努めますので、どうぞ皆さまもご愛読のほどよろしく願います。

改選後、初めての一般質問ではいつもに増して傍聴する方が多かったですように感じます。常に関心を持っていただけるような、深い議論のできる議会であり続けたいと思います。

議会だよりを「ギカイの窓」としてリニューアルしてから、4回目の発行となりますが、いかがでしょうか?特集や表紙写真、小学生のコーナーなど市民の皆さまにもご協力いただき、大変感謝しております。これからも、皆さまと一緒に作り上げるギカイの窓、また議会でありたいと思います。

(吉川友子)

聞かせて、あなたの夢

佐久市の小学6年生が夢を語ります 佐久っ子の夢、応援します！



つがね せな
津金 星成さん
(岩村田小学校6年生)

僕の将来の夢は、製薬会社で薬剤師としていろんな新しい薬を作る研究をする事です。そして病気で困っている人を元気づけたり助けたりしてあげたいです。いま夢に向かって、理科や算数の授業で積極的に手を上げたりしています。

あと、最近、2週間後に音楽会があるので、音楽の練習をしています。曲は合唱でよく歌われている『あなたへ』という曲です。4年生からパートは、アルトとソプラノに分かれていて、僕はアルトがよかったのですが、友達に譲ってあげソプラノを担当しています。

音楽会が楽しみです!!

学校以外で好きな事は、剣道をやっています。地域の剣道クラブに去年の4月より週2回通っています。

議会の主な活動

このコーナーでは、議会が本会議以外でおこなっている主な活動を、写真で報告しています。

新人議員研修会(5月26日、5月30日)



今回、初当選された議員8名を対象に、2日間にかけて、研修会が開催されました。26日は市長部局より分掌事務と予算について説明があり、30日は議会事務局より議会運営について説明を受けました。

中部横断自動車道佐久地域議員連盟総会(6月20日)



平成29年度中部横断自動車道建設促進佐久地域議員連盟の総会を小海町総合センターで開催しました。佐久地域選出の国会議員、県議員や市町村議員など約120名が出席し、中部横断自動車道の早期整備に向け、関係機関に要望活動を行うことの活動計画案などを承認しました。

佐久市議会議員研修会(7月4日)



農林水産省都市農村交流課の日置秀彦氏を講師に迎え、「農泊の推進等について」と題して研修会を開催しました。農泊により地域が自立し持続可能な観光のあり方等を、事例を通して丁寧に講演いただきました。

ひとくちメモ

中部横断自動車道佐久地域議員連盟とは

佐久南IC～八千穂高原ICまでは、今年度中に開通予定ですが、八千穂高原IC～長坂IC区間は調査中であり、早期の全線開通に向けて、佐久地域の地方議員の有志をもって結成した議員連盟のことをいう。

農泊とは

多様な宿泊手段により、日本ならではの伝統的な生活体験と、農村地域との交流をする農山漁村滞在型旅行のことをいう。

